



ChatGPT 「deep research」 アップデート（2026年2月10日）調査・分析報告書

Executive Summary

2026年2月10日（米国時間相当）に、ChatGPTの「deep research」がアップデートされ、(a) 基盤モデルがGPT-5.2系に更新、(b) 参照するWebサイト（信頼サイト）をユーザーが指定可能、(c) 接続アプリ／MCP（Model Context Protocol）経由のデータソースを研究対象に組み込める、(d) 進行状況をリアルタイムで追跡しつつ途中介入（フォローアップや追加ソース投入）ができる、(e) レポートを“全文ビューア（フルスクリーン）”で閲覧・ダウンロードできる——という点が、公式ブログ／公式リリースノート／公式SNS投稿／ヘルプセンター文書の整合した記述として確認できた。①

一方で、GPT-5.2の「内部アーキテクチャの詳細」や「deep researchがGPT-5.2に移行した際の学習・推論パイプラインの技術仕様（例：検索アルゴリズム、ランキング、検証ロジック、コンテキスト圧縮の適用範囲）」は、一次資料で詳細が公開されておらず、本報告書では該当箇所を一律「未指定」と扱う。②

本アップデートは、研究対象の「出典統制（信頼サイト／認証済みデータ）」と「プロセス可観測性（進捗・追跡・行動履歴・出典一覧）」を強く前面に出しており、誤情報・監査可能性・業務利用の再現性という観点で実務適合性を高める方向性が明確である。③

ただし、アプリ連携は「社内データや個人データを外部サービス／モデル処理系へ取り込む導線」でもあるため、データ制御（学習利用のオン／オフ、保持期間、共有範囲）・第三者提供・プロンプトインジェクション等のセキュリティ論点が、従来以上に実務上クリティカルになる。④

公式ソースの確認結果

OpenAI公式ブログ（deep research紹介ページの「2026年2月10日更新」追記）では、「MCPまたはアプリへの接続」「信頼できるサイトへの検索制限」「リアルタイム進捗追跡と途中介入」「開始からレビューまでのビジュアル体験の更新」が、アップデート内容として明示されている。⑤

日本語要約：deep researchの“研究対象（ソース）”と“研究過程（追跡・介入）”の両方に関して、ユーザーが制御できる範囲を拡大し、信頼性（authenticated / industry-standard sources）と可視性を高めた。

ChatGPT公式リリースノート（2026年2月10日）は、(1)「特定サイト」および「より多くの接続アプリ」を信頼ソースとして“研究対象にフォーカス可能”、(2)「サイドバーの再設計」と「フルスクリーンのレポートビュー」で開始・レビュー・管理を容易化、(3) 研究開始前に「リサーチ計画を作成・編集」でき、実行中に「進行追跡しつつ方向修正」が可能、(4) 展開は“Plus/Proが当日、Free/Goが数日内”と記載している。⑥

日本語要約：機能（サイト指定・アプリ拡張）とUI（サイドバー/全文ビュー）をセットで再設計し、計画編集→実行→レビューの一連を“研究タスク”として扱える導線に変えた。

ヘルプセンター（Deep research in ChatGPT）は、deep researchの実行手順（成果物の指定→ソース選択→計画提示→実行中追跡・介入→引用付きレポート）を明文化し、さらに「接続アプリは読み取りアクションのみ」「サイト指定（Manage sites）」「最終レポートに“目次・使用ソース・アクティビティ履歴”が表示される」「Markdown / Word / PDFでダウンロード可能」等の運用・UI仕様を具体的に示す。⑦

日本語要約：ユーザーが“研究対象の範囲”と“研究の進め方”を確認し、必要なら途中で介入できることを前提に、検証可能性（sources/links）を担保する設計である。

公式SNS（X / LinkedIn / YouTube）では、定型的に「deep researchがGPT-5.2で駆動」 「アプリ接続とサイト指定」 「リアルタイム追跡と途中介入」 「全文ビューア」が列挙され、当日ロールアウト開始が告知されている。⁸

日本語要約：SNS投稿は、アップデートの“要点4つ（モデル更新・ソース統制・進捗追跡・ビューア）”を短く示す広報導線として機能している。

補助的な公式一次資料（GPT-5.2関連）として、GPT-5.2の製品ブログ（性能・安全性・提供形態・API価格）、システムカード更新、開発者向け「Using GPT-5.2」ガイド、API changelog（2/10付の仕様更新）を参照し、deep research更新と同日に近接したプラットフォーム変更も整理した。⁹

技術的分析：GPT-5.2とdeep research基盤更新

deep researchがGPT-5.2で駆動されることは、公式SNS告知およびChatGPTリリースノートのアップデート文脈から確認できる。¹⁰

ただし「deep researchがGPT-5.2のどのバリエント（Instant/Thinking/Pro）をどう使い分けるか」「検索・検証・要約・引用生成の内部フロー」「モデルルーティングの条件」は一次資料に明示がなく、未指定である。¹¹

GPT-5.2の主要改良点（公式に記載された範囲）

開発者向けガイドでは、GPT-5.2がGPT-5.1から改善した領域として「汎用知能、指示追従、正確性とトークン効率、視覚（マルチモーダル）、コード生成（特にフロントエンドUI）、ツールコーリングとコンテキスト管理、スプレッドシート理解」が列挙される。¹²

また、API面では `reasoning.effort` に `xhigh` が追加され、推論サマリーやコンテキスト圧縮（compaction）などの“コンテキスト管理”機能が拡張されたと説明される。¹³

製品ブログは、ベンチマーク（例：GDPval、SWE-Bench、GPQA等）での向上や、ツール利用・長文脈・実務タスクでの改善を強調するが、内部アーキテクチャ（層構造、学習レシピ、パラメータ規模等）の具体は公開しておらず未指定である。¹⁴

セーフティ／フィルタリングの更新（公開情報の範囲）

GPT-5.2の安全性は、GPT-5で導入した「safe completion（拒否の二択から、境界内で最大限有用な応答へ）」方針の延長として説明される。¹⁵

また、精神的危機・自傷他害兆候・情緒的依存といった“センシティブ会話”に対する応答の改善や、18歳未満推定に基づく保護措置の段階導入が記載される。¹⁶

ただし、deep research更新が「どの安全機構（検閲、フィルタ、リスク検知、ソース除外）」を追加・変更したかは、一次資料に詳細がなく未指定である。¹⁷

API／SDK変更点（2/10前後の関連アップデート）

API changelogには、(a) `gpt-5.2-chat-latest` のスラッグ更新、(b) Responses APIのserver-side compaction、(c) Hosted ShellやSkills等が同日付近の更新として掲示されている。¹⁸

これらは「ChatGPT deep research UI更新」そのものの実装詳細ではないが、同日に“コンテキスト圧縮・実行環境”などエージェント性を支える基盤が更新されている点は、技術ロードマップ上の整合として重要である（推論）。¹⁹

機能詳細：アプリ接続と参照Webサイト指定

全体像（ユーザーが制御できるソースの種類）

ヘルプセンターは、deep researchが参照できるソースとして「Webサイト」「アップロードファイル」「接続アプリ」を明示し、開始前に計画を提示してユーザーが修正できることを手順として規定している。²⁰

さらに公式機能ページは、ユーザーが「URLのセットをキュレーションして承認（approved URLs）」「認

証済み業界ソースの接続」 「プライベートファイルやエンタープライズデータの追加」を行い、deep researchが一般Webよりそれらを優先する、と説明する。 ²¹

参照Webサイト指定 (Sites / Manage sites)

ヘルプセンターは、Web検索を「信頼サイトに限定」できるUIとして、Sitesの管理機能 (Manage sites) を示し、指定サイト以外を検索しない／指定サイトを優先する、といった挙動を案内している。 ²²

この設計は、(1) 出典監査の容易化、(2) 業界標準・一次情報への寄せ、(3) 誤情報の混入確率低減、という利点がある一方、(a) ソースバイアス (指定サイトの偏り) 、(b) 重要反証の取りこぼし、(c) 指定サイト自体が誤っている場合の“閉じた誤り”、という新しい失敗モードも生み得る (リスク評価)。 ²³

アプリ接続 (Connected apps / Apps) と読み取り制限

ヘルプセンターは、deep researchがドキュメントストアや認証済みデータサービスから情報を引くこと、例として Google Drive ²⁴ や Microsoft SharePoint ²⁵ 、および FactSet ²⁶ 、PitchBook ²⁷ 、Scholar Gateway ²⁸ を挙げつつ、「deep researchは接続アプリの“read actions”のみを使い、“write actions”は使わない」と明確に制約している。 ²⁹

この制約は「研究タスク中に外部システムへ更新を書き込まない」という意味で、誤作動時の被害範囲を狭める安全設計と解釈できる一方、(別機能の) アプリは一般チャットでは書き込みアクションを持ち得るため、ワークスペース側での権限制御 (RBAC、アクション制限) の重要性は残る。 ³⁰

許可／認可フロー (OAuth) と管理者統制

「Apps in ChatGPT」ヘルプは、アプリ接続手順を「Settings → AppsでConnect → OAuth等の認可フロー完了」と記載し、ワークスペース (Business/Enterprise/Edu) では管理者が有効化・RBAC・アクション制御を行えると説明する。 ³¹

また、同ヘルプは、アプリが会話文脈や (オンの場合) Memoryを参照し得ること、アプリ側が一般的な接続情報 (IP、ブラウザ種、言語/地域、概略位置) を得る可能性、アプリごとの規約・プライバシーポリシーに従うことを明示している。 ³¹

よって、対象データが個人情報／機密情報を含む場合、(1) 接続アプリの選定、(2) 共有される範囲の理解、(3) Memoryや学習利用 (Data Controls) の設定、が“利用者側の統制点”となる。 ³²

MCP (Model Context Protocol) との関係 (「任意のMCPまたはアプリ」)

公式ブログは「deep researchを任意のMCPまたはアプリに接続可能」とし、社内・業界ソースへの“認証済みアクセス”を志向する。 ⁵

開発者モードのヘルプは、MCPアプリを組織が構築・テスト・配布する枠組みを説明し、(a) 変更／書き込みアクションを含む“完全なMCP”は主にBusiness/Enterprise/Edu向けβ、(b) deep researchでのカスタムアプリ利用は読み取り／取得のみ、(c) ローカルMCPサーバーは非対応でリモートのみ、(d) 信頼できないMCP接続はプロンプトインジェクション等のリスク、という実装・運用上の要点を提示している。 ³³

したがって、deep research更新が意味する「任意のMCP接続」は、万能ツール実行ではなく、“研究向けに限定された取得系ツール”を安全に統合する方向だと位置づけられる。 ³⁴

UI/UX：進捗追跡ビューアと全文レポートビュー

新UIの核：サイドバー導線+全文 (フルスクリーン) ビューア

ChatGPTリリースノートは「再設計されたサイドバーのエントリーポイント」と「フルスクリーンのレビュー・トビュー」を明示し、deep researchを“開始→レビュー→管理”する一連の導線を統合したと述べる。 ⁶

The Verge ³⁵ は、このビューアが「チャットとは別ウインドウでレポートを開ける」「左に目次、右にソース一覧を表示できる」点を具体的UIとして報じている。 ³⁶

実行前：計画提示と編集

ヘルプセンターは、deep researchが開始前に「提案されたリサーチ計画」を提示し、ユーザーがレビュー・変更できることを手順として定義している。 ³⁷

公式機能ページも「プランをレビューし、スコープやソース、制約を調整できる」ことを明示し、研究タスクを“ブラックボックスで走らせない”前提を強調している。²¹

実行中：リアルタイム追跡と途中介入（フォローアップ／新ソース）

公式ブログ更新およびヘルプセンターは、研究の進行状況を追跡し、必要に応じて中断して指示やソースを追加できることを記載する。³⁸

公式YouTubeのデモ動画ページも同様の要点（アプリ接続・サイト指定・進捗追跡・全文ビュー）を列挙する。³⁹

閲覧・監査：目次／ソース／アクティビティ履歴

ヘルプセンターは、完成レポートのフルスクリーンビューで「目次（Table of contents）」「使用したソース一覧（Sources used）」「研究の進行を示すアクティビティ履歴（Activity history）」を確認できるとしている。²²

また、共有アイコン経由でMarkdown／Word／PDFとしてダウンロード可能である。⁴⁰

UIフロー（概念図）

```
graph TD
    A[A[ユーザーがDeep researchを選択]] --> B[B[成果物要件を入力]]
    B --> C[C[ソースを選択：ファイル / 接続アプリ / 指定サイト / 一般Web]]
    C --> D[D[提案リサーチ計画の提示]]
    D --> E[E{ユーザーが計画を編集？}]
    E -- はい --> D
    E -- いいえ --> F[F[実行開始]]
    F --> G[G[進捗ビューでリアルタイム追跡]]
    G --> H[H{途中介入？}]
    H -- はい --> I[I[フォローアップ/新ソース/スコープ修正]]
    I --> F
    H -- いいえ --> J[J[レポート完成]]
    J --> K[K[全文ビューア：目次/ソース/履歴]]
    K --> L[L[共有・ダウンロード：PDF/DOCX/MD]]
```

ロールアウト、料金、利用制限

ロールアウト計画（Plus/Pro → Free/Go）

リリースノートは「Plus/Proへ当日中に展開、Free/Goは“coming days（数日内）”」と明記する。⁶

The Verge³⁵も同様に「Plus/Proは当日、Goと無料は数日内」と報じている。³⁶

Free/Goへの“具体日付”や“地域別の段階展開表”は公式に未指定である。⁶

プラットフォーム差（Web/モバイル/音声）

deep research自体のWeb/モバイル差は一次資料で体系的に整理されておらず未指定である。³⁷

ただし、アプリ機能については「音声モードはアプリ非対応」と明記されている。³¹

また、MCPアプリ（開発者モード）は“webのみ”とされ、モバイルでは利用できない。³³

地域差

アプリは一部地域で提供制限があり得る旨（例：European Economic Area⁴¹、United Kingdom⁴²、Switzerland⁴³で一部アプリが利用不可の場合）がヘルプに記載される。³¹

deep researchアップデート自体の地域別提供状況は「国や地域により異なる」とされるが、詳細リストは未指定である。²²

料金（追加料金の有無）

本アップデート（deep researchの機能拡張）について「追加課金が発生する」との公式記載は確認できず、未指定である。¹¹

参考として、GPT-5.2の製品ブログは「ChatGPTのサブスクリプション価格は据え置き」と述べる一方、APIはモデル別従量課金（トークン課金）を提示している。⁴⁴

（注）これはGPT-5.2全体の価格方針であり、deep research拡張の課金方式を直接規定するものではない。

利用上限／レート制限

ヘルプセンターは、deep research利用回数がプランにより異なり、アプリ内でカウンター表示され、30日ごとにリセットされると説明するが、具体回数は未指定である。²²

Appsについては「特別なレート制限はなく、各プランの通常レート制限に従う（ただし外部アプリ側の制限はあり得る）」と明記される。³¹

また、deep research紹介ブログ（過去更新）には月次上限の具体例が掲載されているが、2026年2月時点での現行値として再確認できる一次資料はなく、本報告書では“歴史的記録”扱いとする。⁵

API利用可否（deep researchアップデート相当機能）

OpenAI APIにはdeep researchガイドが存在し、MCPサーバー側に“search/fetch”インターフェースを要求するなど、研究型モデルの前提条件が記載されている。⁴⁵

しかし、今回の「全文ビューア」「サイト指定UI」「実行中ビューでの介入」等がAPIとして提供されるかは公式発表に未指定である。¹¹

セキュリティとコンプライアンス：評価と影響

データ保持（Retention）と削除

ヘルプセンターは、チャットがユーザー削除まで保存され、削除後は原則30日以内にOpenAIシステムから恒久削除される（法的・セキュリティ上の例外あり）と説明する。⁴⁶

また、OpenAI公式ブログは、The New York Times⁴⁷との訴訟に関連して一時的に保持義務が生じた経緯と、その義務が終了し標準の保持（削除後30日以内）に戻ったこと、ただし一部期間データは限定的に保管され得ることを説明している。⁴⁸

deep researchにより生成されるレポートも会話スレッドに紐づくため、保持・削除は基本的に同一ポリシー枠下に位置づく。⁴⁹

ログ／監査（企業向け）

Appsヘルプは、会話（アプリ利用を含む）がCompliance APIで扱われること、およびアプリ呼び出しがコンプライアンスログに記録される旨を記載している。³¹

deep researchヘルプも、研究タスクの進行が“アクティビティ履歴”としてユーザーに提示され得る点を明示し、監査可能性（provenance）をUI側に組み込んでいる。²²

第三者へのデータ共有（アプリ連携）

プライバシーポリシーは、ユーザー入力（プロンプト、アップロードファイル等）に加えて「接続サービス（connected services）由来データ」も個人データとして収集し得ること、また目的（提供・改善・安全対策等）と、業務委託先等への開示可能性を規定している。⁵⁰

Appsヘルプは、アプリが会話文脈やMemory（オンの場合）を参照し得ること、IP等の基本情報の共有可能性、そしてデータが各アプリの規約・プライバシーポリシーに従うことを明確化している。³¹

よって、deep researchにアプリを接続することは「（OpenAI側の処理に加え）第三者アプリへのデータ流通経路を開く」ため、業務・個人いずれでも“最小化と目的限定”的観点で接続対象を厳選する必要がある（評価）。⁵¹

学習利用（Training）とデータコントロール

Data Controlsは、個人向け（Free/Go/Plus/Pro）において「Improve the model for everyone」をオフにす

ることで学習利用を停止できると説明する。⁵²

一方、ビジネス向け（Business/Enterprise/Edu/API）は“デフォルトで学習に使わない”というコミットメントが明示されている。⁵³

Appsヘルプも「個人向けは設定ONの場合、アプリ経由データが学習に使われ得る」ことを明示しており、deep researchでアプリを使う場合に設定確認が重要である。³²

プロンプトインジェクション等の安全性（MCP/アプリ）

開発者モードのヘルプは、信頼できないMCPサーバー接続がセキュリティリスク（プロンプトインジェクション含む）を高める可能性を明言し、書き込みアクションには確認モーダル等の制御を設けるとしている。³³

deep research自体がread-onlyであっても、取得した情報が“次の検索クエリや要約の指針”に影響するため、悪意あるソース混入への対策（サイト指定・認証ソース優先）は本アップデートの中心的価値もある。⁵⁴

GDPRと日本の個人情報保護法（APPI）への影響評価（可能な範囲）

GDPRは、個人データ処理の基本原則（適法性・透明性、目的限定、データ最小化、保存制限、機密性等）を規定する。⁵⁵

日本の個人情報保護法は、第三者提供の原則同意、越境移転時の追加情報提供・同意などを含む枠組みを定める。⁵⁶

deep researchの「アプリ接続」と「サイト指定」は、(1) 個人データを含む社内ソースを取り込む可能性、(2) 第三者（アプリ事業者）への提供・共同利用に相当し得る可能性、(3) 越境移転（クラウド/海外アプリ）の可能性、を実務上高めるため、APPI上は特に“第三者提供・越境移転”的整理が重要となる（評価）。⁵⁷ OpenAIはビジネス向けページで、GDPR等へのコンプライアンス支援、暗号化、保持期間制御、データレジデンシー（例：Japan⁵⁸ を含む）を提供すると説明しているが、これらは原則としてEnterprise/Edu/API等の対象条件が付くため、個人向けプランで同等の統制が可能かは未指定である。⁵⁹

日本の監督当局は 個人情報保護委員会⁶⁰ であり、適用判断や越境移転要件の実務運用は同委員会の枠組みに従う。⁶¹

影響評価（利点とリスク）

研究者・アナリストにとっては、(a) 信頼サイト／認証データへの寄せ、(b) 計画編集と途中介入、(c) 目次・ソース・履歴の提示により、レポートを“検証可能なドラフト”として扱いやすくなる利点がある。²³

開発者にとっては、GPT-5.2のツールコーリング／コンテキスト管理強化、Responses APIのコンテキスト圧縮等が、長工程エージェントの実装・運用に追い風となり得る。¹³

企業ユーザーにとっては、アプリ（社内データ）とWeb（外部情報）を同一レポートへ統合し、監査可能性を確保しながら意思決定資料を作れる可能性がある一方、アプリ連携が第三者提供・越境・保持・学習設定といったコンプライアンスを一段複雑化させるリスクがある。⁶²

一般ユーザーにとっては、deep researchがより“読める文書UI”になり、ダウンロード可能になった点は利便性が高いが、信頼サイト指定を誤ると偏った結論になり得る点、接続アプリが個人情報を含み得る点には留意が必要である。⁶³

参考報道と外部解説

The Verge³⁵ は、全文ビューアのUI（左目次・右ソース・別ウィンドウ）と、Plus/Pro→Free/Goの展開予定、ダウンロード形式（MD/DOCX/PDF）を具体的に報じた。³⁶

The Decoder⁶⁴ は、deep researchのアップデートとしてGPT-5.2移行、サイト指定、アプリ接続、進捗追跡、Plus/Pro先行展開を要約している。⁶⁵

GPT-5.2自体の背景・競争環境については、Reuters⁶⁶、WIRED⁶⁷、TechCrunch⁶⁸ が2025年12月のモデル公開時に報道しており、モデル刷新が“競争環境下での能力向上”として位置づけられている。⁶⁹

日本語報道としては ITmedia⁷⁰ の記事が確認でき、アップデート要点（GPT-5.2、アプリ／サイト指定、進捗ビューア）を扱っているが、本文の機械取得が不安定であり、詳細引用は未指定とする。⁷¹

なお、日本経済新聞⁷² および Engadget日本版⁷³ については、少なくとも本調査で「本アップデートを直接扱う該当記事」の一次確認に至っておらず未指定である。

付録：確認したソース一覧

ソース名	URL (原 文リ ン ク)	言語	要約（本報告書で参照した論点）	確認日
OpenAI公式ブログ： Introducing deep research (2/10/2026 更新追記)	5	EN	MCP/アプリ接続、信頼サイト指定、進捗追跡・途中介入、体験刷新の公式説明	2026-02-11
ChatGPT — Release Notes (2/10/2026)	6	EN	deep research改善点、全文ビュー、計画編集、ロールアウト (Plus/Pro→Free/Go)	2026-02-11
Help Center : Deep research in ChatGPT	22	EN	サイト指定 (Manage sites)、接続アプリ read-only、目次/ソース/履歴、DL形式	2026-02-11
ChatGPT機能ページ： Deep research in ChatGPT	21	EN	approved URLs/認証ソース優先、計画編集、リアルタイム追跡、PDF/DOCX	2026-02-11
公式SNS : LinkedIn投 稿 (Updates to deep research in ChatGPT)	74	EN	GPT-5.2化、アプリ/サイト指定、進捗追跡 介入、全文ビュー、当日ロールアウト	2026-02-11
公式SNS : YouTube動 画ページ (Updates to deep research in ChatGPT)	39	EN	デモ動画のタイトル・概要（上記要点の列 挙）	2026-02-11
公式SNS : X投稿 (OpenAI公式アカウント)	75	EN	「deep research is now powered by GPT-5.2」等の短文告知（本文全体はX側UI 依存）	2026-02-11
Help Center : Apps in ChatGPT	31	EN	接続手順 (Settings→Apps→Connect)、 共有データ範囲、学習設定、地域制限、 レート制限	2026-02-11
Help Center (日本 語) : 開発者モードと MCPアプリ [β]	33	JA	MCP/開発者モード、OAuth注意、web限 定、deep researchでのread-only、プロン プトインジェクション注意	2026-02-11
OpenAI公式ブログ： Introducing GPT-5.2	76	EN	能力向上領域・ベンチマーク・安全性方 針・価格 (API)・サブスク据え置き	2026-02-11
OpenAI公式 : GPT-5 System Card Update (GPT-5.2)	77	EN	安全性アプローチの位置づけ（システム カード参照）	2026-02-11

ソース名	URL (原 文リ ン ク)	言語	要約（本報告書で参照した論点）	確認日
開発者向け：Using GPT-5.2	⑫	EN	改善領域、モデル種、reasoning.effort (xhigh等) 、コンテキスト圧縮、移行注意	2026-02-11
OpenAI API Changelog (2/10/2026)	⑯	EN	gpt-5.2-chat-latest更新、server-side compaction等の周辺基盤更新	2026-02-11
Help Center : Chat and File Retention Policies in ChatGPT	⑯	EN	チャット保持、削除後30日以内削除、例外 (法務/セキュリティ)	2026-02-11
OpenAI公式ブログ：NYT訴訟とデータ保持 (Response to NYT data demands)	⑯	EN	一時的保持義務→終了、30日保持へ復帰、地域 (EEA等) 扱い、アクセス制御	2026-02-11
Help Center : Data Controls FAQ / How your data is used...	⑯	EN	学習利用のオン/オフ、個人向けとビジネス向けの扱い差	2026-02-11
OpenAI公式：Privacy Policy (ROW)	⑯	EN	収集データ（接続サービス由来含む）、利用目的、開示先の枠組み	2026-02-11
OpenAI公式：Enterprise privacy / Business data privacy	⑯	EN	ビジネスデータ非学習（デフォルト）、暗号化、保持制御、GDPR等準拠支援、データレジデンシー	2026-02-11
報道：The Verge (2/10/2026)	⑯	EN	全文ビューアのUI具体、DL形式、Plus/Pro 当日・Free/Go数日内	2026-02-11
報道：Reuters / WIRED / TechCrunch (GPT-5.2発表時)	⑯	EN	GPT-5.2公開の背景（競争・性能向上）	2026-02-11
参考（日本法）：日本法令英訳 (APPI)	⑯	EN	第三者提供・越境移転等の条文参照	2026-02-11
参考（EU法）：EUR-Lex (GDPR原文)	⑯	EN	GDPRの法源参照（原則等）	2026-02-11
参考（監督当局）：個人情報保護委員会 (PPC)	⑯	EN/ PDF	APPI英訳PDF・当局情報	2026-02-11
日本語報道：ITmedia (抄録ベース)	⑯	JA	要点（GPT-5.2、アプリ/サイト指定、進捗ビュー）を扱うことを確認	2026-02-11

- 3 6 11 17 23 42 66 68 <https://help.openai.com/en/articles/6825453-chatgpt-release-notes>
<https://help.openai.com/en/articles/6825453-chatgpt-release-notes>
- 4 30 31 32 35 43 51 57 62 64 67 73 <https://help.openai.com/en/articles/11487775-connectors-in-chatgpt>
<https://help.openai.com/en/articles/11487775-connectors-in-chatgpt>
- 7 20 22 37 40 41 63 <https://help.openai.com/articles/10500283>
<https://help.openai.com/articles/10500283>
- 8 10 74 https://www.linkedin.com/posts/openai_updates-to-deep-research-in-chatgpt-activity-7427068061586907136-q827
https://www.linkedin.com/posts/openai_updates-to-deep-research-in-chatgpt-activity-7427068061586907136-q827
- 9 14 15 16 25 44 76 <https://openai.com/index/introducing-gpt-5-2/>
<https://openai.com/index/introducing-gpt-5-2/>
- 12 13 26 <https://developers.openai.com/api/docs/guides/latest-model?gallery=open&galleryItem=event-count-down>
<https://developers.openai.com/api/docs/guides/latest-model?gallery=open&galleryItem=event-count-down>
- 18 19 <https://developers.openai.com/api/docs/changelog/>
<https://developers.openai.com/api/docs/changelog/>
- 21 <https://chatgpt.com/features/deep-research/>
<https://chatgpt.com/features/deep-research/>
- 24 61 82 <https://www.ppc.go.jp/en/>
<https://www.ppc.go.jp/en/>
- 27 28 71 <https://www.itmedia.co.jp/aiplus/articles/2602/11/news031.html>
<https://www.itmedia.co.jp/aiplus/articles/2602/11/news031.html>
- 29 <https://help.openai.com/en/articles/10500283-deep>
<https://help.openai.com/en/articles/10500283-deep>
- 33 34 <https://help.openai.com/ja-jp/articles/12584461-developer-mode-and-mcp-apps-in-chatgpt-beta>
<https://help.openai.com/ja-jp/articles/12584461-developer-mode-and-mcp-apps-in-chatgpt-beta>
- 36 <https://www.theverge.com/ai-artificial-intelligence/876775/openai-deep-research-chatgpt-full-screen-report-viewer>
<https://www.theverge.com/ai-artificial-intelligence/876775/openai-deep-research-chatgpt-full-screen-report-viewer>
- 39 <https://www.youtube.com/watch?v=2gCqVb2lBwk>
<https://www.youtube.com/watch?v=2gCqVb2lBwk>
- 45 70 <https://platform.openai.com/docs/guides/deep-research>
<https://platform.openai.com/docs/guides/deep-research>
- 46 49 <https://help.openai.com/articles/8983778>
<https://help.openai.com/articles/8983778>
- 48 <https://openai.com/index/response-to-nyt-data-demands/>
<https://openai.com/index/response-to-nyt-data-demands/>
- 50 72 <https://openai.com/policies/row-privacy-policy/>
<https://openai.com/policies/row-privacy-policy/>

- 52 78 <https://help.openai.com/en/articles/7730893-data-controls-faq>
<https://help.openai.com/en/articles/7730893-data-controls-faq>
- 53 <https://help.openai.com/en/articles/5722486-how-your-data-is-used-to-improve-model-performance>
<https://help.openai.com/en/articles/5722486-how-your-data-is-used-to-improve-model-performance>
- 55 81 <https://eur-lex.europa.eu/eli/reg/2016/679/oj/eng>
<https://eur-lex.europa.eu/eli/reg/2016/679/oj/eng>
- 56 60 80 <https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/4241/en>
<https://www.japaneselawtranslation.go.jp/en/laws/view/4241/en>
- 58 75 <https://x.com/OpenAI/status/2021299935678026168>
<https://x.com/OpenAI/status/2021299935678026168>
- 59 <https://openai.com/business-data/>
<https://openai.com/business-data/>
- 65 <https://www.neowin.net/news/openai-upgrades-chatgpt-deep-research-with-gpt-52-and-real-time-controls/>
<https://www.neowin.net/news/openai-upgrades-chatgpt-deep-research-with-gpt-52-and-real-time-controls/>
- 69 <https://www.reuters.com/technology/openai-launches-gpt-52-ai-model-with-improved-capabilities-2025-12-11/>
<https://www.reuters.com/technology/openai-launches-gpt-52-ai-model-with-improved-capabilities-2025-12-11/>
- 77 <https://openai.com/index/gpt-5-system-card-update-gpt-5-2>
<https://openai.com/index/gpt-5-system-card-update-gpt-5-2>
- 79 <https://openai.com/enterprise-privacy/>
<https://openai.com/enterprise-privacy/>